

＊洪庵の思い（志）について考えてみましょう

♠ステップ1

○天然痘という病気から人々を救おうという洪庵の思い（志）は正しかったでしょうか？

みんなそう思うの？

正しかった

正しかったとも言えない

♥ステップ2

なぜ、そう思ったの？

- たくさん人の命を救いたいという思いは正しい
- 様々な困難にも負けずに諦めなかったのは、すばらしい
- 思いは悪くないが、他の人の命に影響を与えるのはよくない
- 結果的には良かったが、命にかかわることは、責任が大きい
- よかったのは、結果論だ

♣ステップ3

○危険かもしれないものを8人の子どもに植えつないだが、どう思いますか？

当時は、天然痘でどんどん命を落としているので、何もしないより試した方がいい

でも、子どもたちは判断できないが…

やはり、少しでも危険であるならば、子どもには試さない方がいい

と言うことは、痘苗は絶えてしまうけど…

○医学の進歩のために知識のない人にリスクを負わせるということをどう考えますか？

多くの命が救えるのなら、多少のリスクは仕方がない

自分がリスクを負うことになるならば、どうですか？

やはり、少しでも危険であるならば、子どもには試さない方がいい

大人と子どもでは命の重みに違いはある？

十分に説明をして、相手が納得しているのなら問題はない

＊洪庵のとった行動（方法）について考えてみましょう

♠ステップ1

○洪庵が自分の甥と姪に「天然痘予防のための人痘種痘」を行った行為は、正しかったのだろうか？間違っていたのだろうか？

みんなそう思うの？

正しかった

間違っていた

♥ステップ2

なぜ、そう思ったの？

- たくさん人の命を救うためには、誰かに人痘種痘を行う必要があった
- 医学が大きく進むことをめざすためには、危険を冒すことは必要だ
- たとえ、親戚の子どもであっても、人の命が失われるかもしれないのでリスクを冒すべきではない
- 実際に腕が腫れて発熱したので危険であった

○自腹を切って米や菓子と引き換えに子どもに種痘をやっていったことについてどう思いますか？

自腹を切ってでも種痘を絶やさないために努力を続けたのはえらいと思う

物に釣られて同意してしまうといったことはないかな？

良いこととはいえ、物で釣るようなことをするのはよくないので間違っている

◆ステップ4

○命を守るという思いとその行動から、何を考えましたか。まとめましょう。

「思い」と「行動」それぞれについて考えてみよう

授業展開のポイント

- ・ステップ1,2 (♠♥) では、「洪庵の思い（志）」と「洪庵の行動（方法）」について分けて考え、その思いや行動に対する自分の考えを根拠をもって説明します。
- ・ステップ3 (♣) では、洪庵の思い（志）に支えられた行動の本質に目を向け、「多数の命の尊重」のための「少数の命のリスク」について考えを深めます。
- ・ステップ4 (◆) では、“命を守る”という「思い」とそれに伴う「行動」について、自らの考えを深める場面を設定します。

指導上の留意点

- ・命を守りたいという洪庵の思いと行動を通して、人の行動を判断する際は、内心＝「思い」と、行為＝「実際にとった言動」で考えることを学びます。世の中には「思い」は正しいが「やり方（言動）」が間違っていたり、言動は正しくても思いに問題があることへの気づきにつながります。
- ・自分の思いの実現だけに心を奪われるのではなく、他人に迷惑をかけずに多くの人から理解を得ることの大切さも考えさせましょう。
- ・人の理解には、「説得力のある説明」と「同意を得ること」が大切です。その上で、発展的な問いとして、賛否が分かれる「安楽死」についての議論も可能です。